令和８年 11 月 16 日
建設委員会行政報告資料

三鷹駅北口地区補助幹線道路（市道第 129 号線）の整備工事について

1　補助幹線道路の事業概要

補助幹線道路は、駅前広場に流入する通過交通を迂回させることを目的に、平成７年度に幅員 12～16ｍで決定された道路計画である。平成 22 年に中央西区間の一部を整備し、平成 28 年に東区間（市道第 293 号線）を整備したことで、三鷹通りから中町新道間をつなぐ道路として開通された。補助幹線道路全線相互通行化に向けて、令和８、９年度に西区間と中央西区間の一部を整備する予定である。

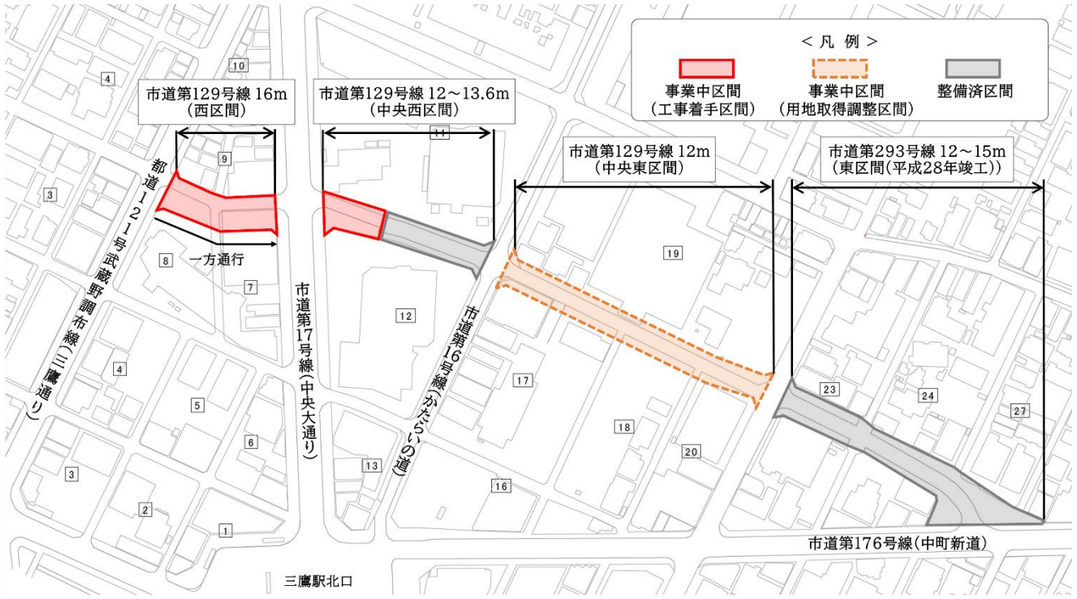


図１　補助幹線道路の整備状況

2　令和８、９年度の工事について

(1) 工事概要

受注者：株式会社武蔵野トランスポート

工　期：令和８年 11 月６日から令和 10 年３月 24 日まで

内　容：車道舗装工　約 800 ㎡

歩道舗装工（インターロッキングブロック舗装）　約 600 ㎡

街きょ工（都市型側溝、155SF 型、155 型）　約 160ｍ

信号関連工（信号管路、ハンドホール等）

接続工（市道第 129 号線の整備に伴う都道部の道路整備）



図２　施工平面図

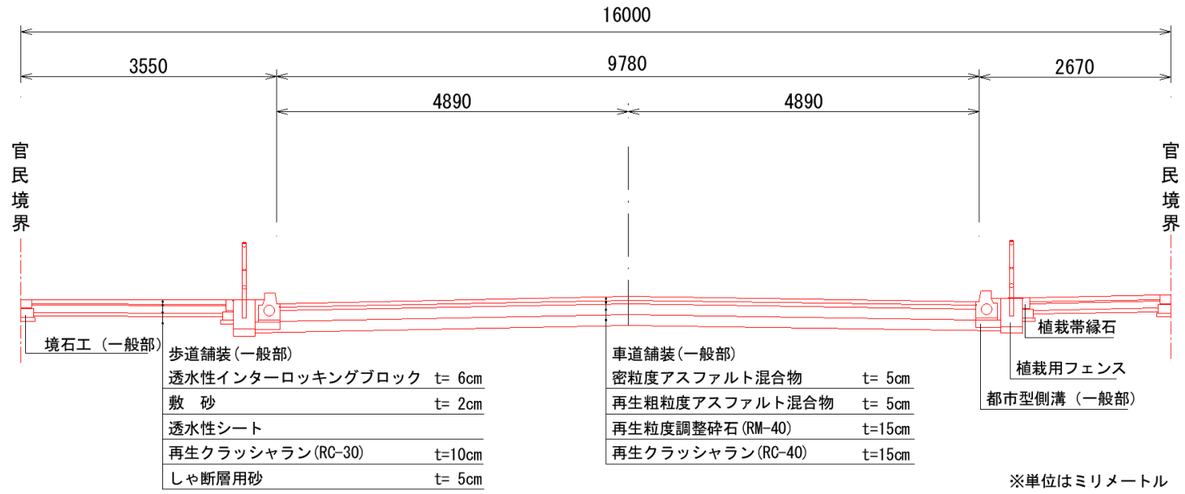


図３　No.2 付近の横断図

(2) 工事スケジュール（予定）

令和８年 12 月	工事説明会
令和９年　１月	工事着手
令和 10 年３月	工事竣工
４月以降	補助幹線道路全線相互通行化
令和 10 年度以降	市道第 176 号線、第 293 号線の交差点改良工事

担当課　都市整備部道路課